



分煙化への取り組み		
ガイドラインステップ	キーワード (6つ以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・分煙化委員 ・嘱託産業医 ・安全衛生委員会
9		
改善・取組みの背景と課題	<p>喫煙者と非喫煙者が同じ場所で休息を取っている。喫煙者の副流煙で非喫煙者もたばこの有害物質を吸い、悪影響を及ぼしていることが考えられた。</p>	
改善・取組みの着眼点	<p>まず、休憩場所に、健康日本21のポスター(喫煙者と非喫煙者の肺を比べたもの)を貼り、両者の意識付けをはかった。</p> <p>次に、喫煙者に1日に吸うたばこの本数と、何年たばこを吸っているか、また、禁煙の意志があるか否かのアンケートを作成し、記入してもらった。</p>	
改善・取組みの概要	<p>アンケート用紙を回収、結果をまとめ、分析、安全衛生委員会で報告した。</p> <p>月初に禁煙タイムデーを設定した。</p> <p>各職場から分煙化委員を選出し、分煙化委員会を発足させた。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p style="color: red;">たばこをやめると</p> <p style="color: red;">こんなにいいことが！！</p> <p style="color: red;">毎月の初日(土、日、祝日を除く)はいわき工場</p> <p style="color: red;">禁煙タイムデー</p> <p style="color: red;">午前10時～12時 午後1時～3時</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>	

<p>写真・図表・ イラスト</p>	<p>モデル職場の喫煙場所(屋外に設置)</p> 			
<p>効 果</p>	<p>喫煙者の副流煙で非喫煙者が悪影響を受けなくなった。 喫煙者はたばこの害を知る機会となり、禁煙に対する意識が高まった。 安全衛生委員会、分煙化委員会の結束も強まり、良い方向に向かっている。 禁煙タイムデーが出来、禁煙支援にもつながる。</p>			
<p>この GPS から学ぶための ヒント</p>	<p>我社は製造業で、喫煙者から「たばこを我慢することで品質不良を起こす」との意見もあったが、産業医や皆の協力があって、少しながらも改善された。こちらから禁煙を押し付けるのではなく、喫煙者自身のみずから考え、改め、そして行動をおこすよう働きかけることが必要である。</p>			
<p>参考資料</p>	<p>1) 健康日本 21、たばこポスター 2) 「たばこ」(サンライフ企画)</p>			
<p>投稿者</p>	<p>澄川睦美</p>	<p>e-mail</p>	<p>m-sumikawa.tyo@tungaloy.co.jp</p>	<p>2008年8月22日</p>